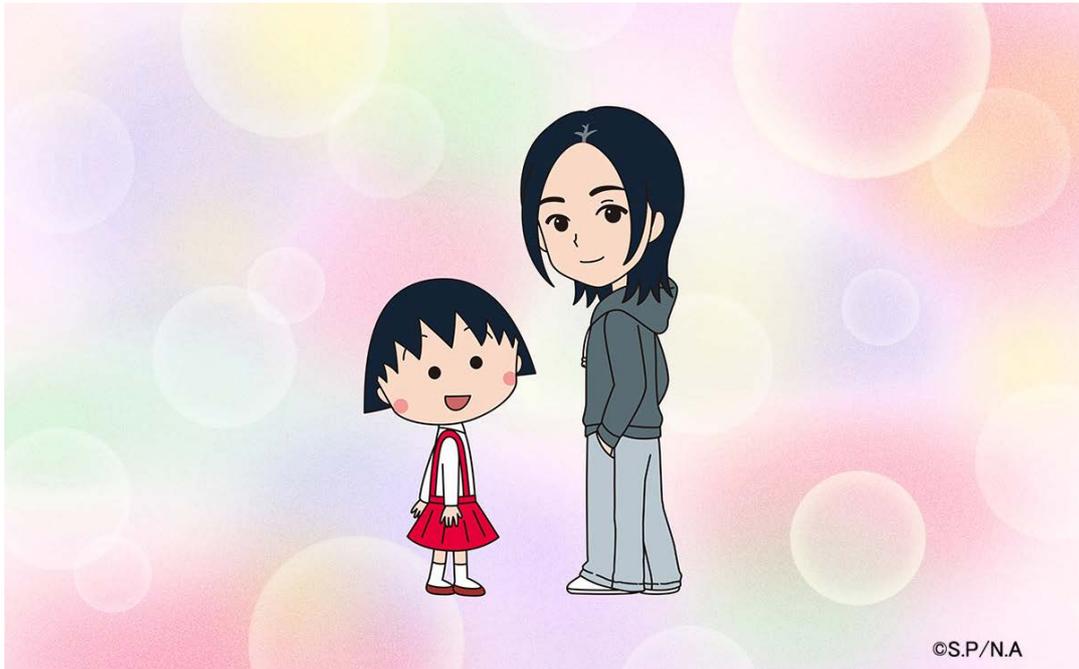


## 『ちびまる子ちゃん』新エンディング主題歌を宇多田ヒカルさんが担当！

3月29日(日)「桜咲く みんなに幸あれ！春の1時間スペシャル」にてOA解禁



日本アニメーション株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：石川和子）がアニメーションの制作・ライセンス展開を行う『ちびまる子ちゃん』の新エンディング主題歌を3月29日（日）から宇多田ヒカルさんが担当することが決定致しました。

エンディング主題歌のタイトルは『パッパパラダイス』。現在の齊藤和義さんが歌う『いつもの風景』から約6年半ぶりの変更となり、3月29日（日）の「桜咲く みんなに幸あれ！春の1時間スペシャル」から放送されます。

これまで『ちびまる子ちゃん』では12作のエンディング主題歌が使用されてきており、さまざまなアーティストが担当してきましたが、『パッパパラダイス』は13作目のエンディング主題歌となります。

今回の宇多田ヒカルさんのエンディング主題歌は、さくらプロダクションからのオファーにより実現に至りました。いろいろなことが起こる『ちびまる子ちゃん』の世界を、最後に優しく包み、背中をそっと押してくれるようなエンディング主題歌です。

3月29日(日)放送 「ちびまる子ちゃん 桜咲く みんなに幸あれ！春の1時間スペシャル」を、どうぞお楽しみに。

<エンディング主題歌>

「パッパパラダイス」

作詞 宇多田ヒカル

作曲 宇多田ヒカル

プロデューサー 宇多田ヒカル、ヘンリー・バウワーズ=ブロードベント

歌 宇多田ヒカル



Photo by TAKAY

<宇多田ヒカル オフィシャルサイト> <https://www.utadahikaru.jp/>

◆さくらプロダクション コメント

さくらももこは、宇多田ヒカルさんの楽曲が大好きで、アルバム『First Love』や『SAKURA ドロップス』『traveling』を自宅によく聴いておりました。

当時まだ幼かった息子とも繰り返し耳にしていたそれらの楽曲は、さくらももこにとって、そして家族にとっても、かけがえのない思い出が詰まった大切な存在です。

「こんなに若いのに、どんな人生経験をしたらこんなにも素敵な歌詞が書けるんだろうね。名前の通り、“うたでひかるひと”だねえ」と、さくららしい言葉で話していました。

2025年に放送35周年を迎え、更なる歩みを進めるこの春、このたび宇多田さんとのコラボレーションが実現いたしますことを、大変嬉しく思っております。

宇多田さんの世界観によって生まれる“新しい『ちびまる子ちゃん』”に、ぜひご期待ください。

◆プロデューサー：竹枝義典（フジテレビアニメ制作部） コメント

「3月29日（日）の『桜咲く みんなに幸あれ！春の1時間スペシャル』より、エンディング主題歌が宇多田ヒカルさんの『パッパパラダイス』に引き継がれます。

『パッパパラダイス』は、“前向きで明るいテンポ感”。そして、“明日が早く来ないかなと思うような、明日への希望が持てるような楽曲”、というイメージをお伝えして、制作いただいた楽曲です。自ら作詞・作曲いただき宇多田さんらしい、そして、『ちびまる子ちゃん』に合った楽曲をご提供いただけました！

放送36周年目に突入した『ちびまる子ちゃん』。これからも皆様に愛される作品を目指していきます！新エンディング主題歌、春の1時間スペシャルの放送まで楽しみにお待ちください！」

## 【「ちびまる子ちゃん 桜咲く みんなに幸あれ！春の1時間スペシャル」概要】

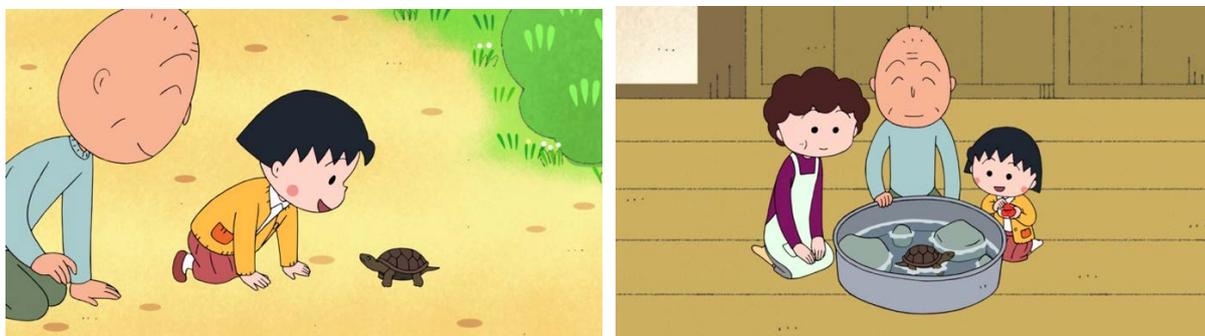
放送日時：3月29日(日)放送 (18時～19時放送)

まる子たちが地元清水から飛び出し、桜満開の富士宮・浅間神社へお出かけする珍道中「まる子、浅間神社に行く」をお届けします。

さらに、迷子のカメとの微笑ましいエピソード「まる子と迷子のカメ」、春のポカポカ陽気に誘われて見た夢のお話「まる子、ポカポカ陽気で不思議な夢を見る」など、見るだけで心がほんわか温かくなること間違いなし。春休みシーズンならではのお話を、みなさまどうぞお楽しみに！

### 【あらすじ】

「まる子と迷子のカメ」



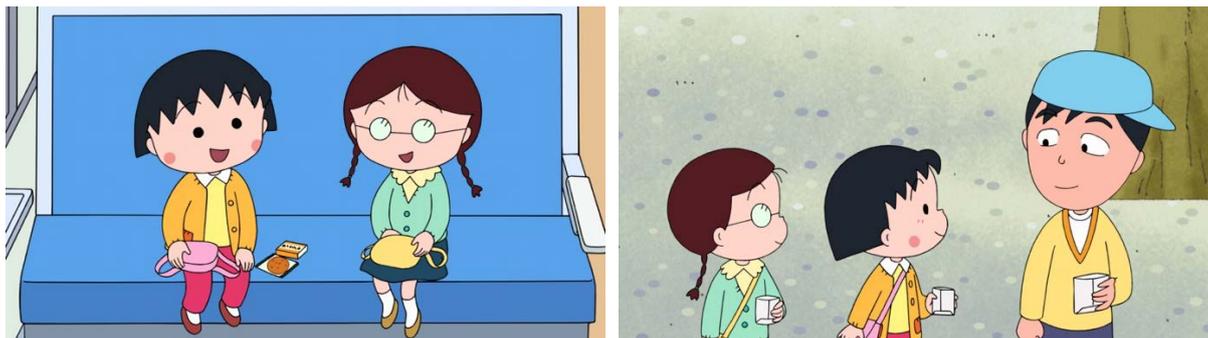
ある春の日、縁側で日向ぼっこをしていたまる子と友蔵は、庭でカメを見つける。どうすればよいか長山君に聞いてみると、その様子だと誰かに飼われていたカメではないかと、飼い主を探すことに。まる子たちは、手分けをしてみんなに聞いてみるが、なかなか飼い主は見つからない。無事にカメの飼い主は見つかるのだろうか？

「まる子、ポカポカ陽気で不思議な夢を見る」



ポカポカ陽気のある一日。ウトウトしたまる子は、この間さくら家に迷い込んだカメの夢を見る。夢の中で、カメとお散歩していると、花輪くんちのビッキー、みぎわさんちのアマリリス、野口さんちのセキセイインコに出会う。みんな、大好きな飼い主に何かお礼をしたいのだと悩んでいる様子。それを見たまる子は…？

## 「まる子、浅間神社に行く」



春休みのある一日。散歩していたまる子とおじいちゃんは、佐々木のじいさんに出会う。聞くと、孫の晴彦くんの学業のお守りをもらいに富士宮の浅間神社にお参りに行ってきたのだと言う。浅間神社の御神木は桜で、境内には、500本も植えられており、日曜にはきっと満開でしょうという話に、どうしても行ってみたいとなったまる子。あいにくおじいちゃんは老人会の用事があり、予定が合わない。そこでまる子はお父さんにどうしても連れて行って欲しいとお願いするのであった。必死の願いが聞き入れられ、お父さんと浅間神社に行くことになったまる子は、たまちゃんも誘ってみる。すると、富士山と桜の写真を撮りたいと、たまちゃんのお父さんも一緒に行くことになり、4人で浅間神社に向かうのであった。

電車を乗り継ぎ、富士宮駅に着くと、目の前にドーンと鎮座する富士山に圧倒される四人。

浅間神社の参道を歩いていると、山梨から見る富士山のほうがすごい、と話す少年・裕一に出会う。

### 【番組概要】

<タイトル>

『ちびまる子ちゃん 桜咲く みんなに幸あれ！春の1時間スペシャル』

<放送日時>

3月29日(日) 18時～19時 放送 フジテレビ系列にて

■タイトル

『ちびまる子ちゃん』

■放送日時

フジテレビ系列にて

毎週(日) 18時～18時30分放送

3月29日(日) 18時～19時放送

<<キャスト>>

まる子(声:菊池こころ)

お父さん(声:屋良有作)

お母さん(声:一龍斎貞友)

おじいちゃん(声:島田 敏)

おばあちゃん(声:佐々木優子)

お姉ちゃん(声:豊嶋真千子)

他

《スタッフ》

原作：さくらももこ

脚本・制作協力：多田弘子（さくらプロダクション）

プロデューサー：竹枝義典（フジテレビ）、小黒凜々花（フジテレビ）、田中伸明（日本アニメーション）

監督：高木 淳（日本アニメーション）

制作：フジテレビ、日本アニメーション

【公式 HP】 <https://www.chibimaru.tv/>

【公式 X】 [https://x.com/tweet\\_maruko](https://x.com/tweet_maruko)

《最新放送回 無料配信中》

【TVer】 <https://tver.jp/lp/series/sr6z4bxpf7>

【FOD】 <https://fod.fujitv.co.jp/s/genre/anime/ser5d40/>

#### 【参考資料】

「ちびまる子ちゃん」について

さくらももこ原作の「ちびまる子ちゃん」は、静岡県清水市（現・静岡県静岡市清水区）を舞台に、そこに暮らす一家・さくら家の次女である小学3年生のまる子（さくら ももこ）と、家族や友だちとの日常を、楽しく面白く、時に切なく描いた心温まる作品です。

1986年に『りぼん』（集英社）で連載を開始し、2026年に原作40周年を迎えます。原作コミックスは全18巻が発売中。発行部数は累計3,500万部を突破（デジタル版を含む）、

海外版はアジア各国、フランスでも出版されました。1990年からはテレビアニメ放送もスタートし、フジテレビ系列で毎週日曜日夕方6時より放送中。中華圏をはじめとする海外でも放送され、世界中の老若男女を魅了し、長きに亘り愛され続けています。

Web サイト： <https://www.chibimaru.tv/>

公式 X（旧 Twitter）： @tweet\_maruko ([https://x.com/tweet\\_maruko](https://x.com/tweet_maruko))

Instagram： @chibimaruko\_official/ ([https://www.instagram.com/chibimaruko\\_official/](https://www.instagram.com/chibimaruko_official/))

Facebook： <https://www.facebook.com/chibimaruko.official/>

YouTube： <https://www.youtube.com/@ChibiMarukoChannel>



©S.P/NA

<本件に関するお問い合わせ先>

【「ちびまる子ちゃん」に関するお問い合わせ先】

日本アニメーション株式会社 広報・宣伝担当：西方

E-mail : pr-NA@nippon-animation.co.jp

画像掲載の際は以下のコピーライトを記載いただきますようお願い申し上げます。

「©さくらプロダクション/日本アニメーション」